交流通信

▶企画課☎２３局３５０７

今回は、田原市との交流が進んでいる韓国ソウル特別市銅雀区（トンジャクク）についてご紹介します。

■韓国・ソウル特別市銅雀区

［友好都市提携予定］

銅雀区は、ソウル市内を東西に流れる漢河（かんこう）の南、市の中心ソウル駅・南大門から地下鉄で約 20 ～ 30 分の距離にに位置する人口 40 万、面積は 16.35 ㎢の特別区で、面積のほとんどを住宅が占めています。区内には、43 万坪を誇る国立顕忠院（国立墓地）や名門校の崇実（スンシル）大学校・中央大学校など、ソウルの重要施設が集まっています。

▲ソウルの南側に位置する近代都市・銅雀区

●友好都市提携について

広報たはら４月号でおしらせしたとおり、田原市と銅雀区は５月に田原市で、７月に銅雀区で友好都市提携の調印を行う予定でしたが、日韓両国の外交状況に配慮し、提携を延期しています。期日が決定しましたら、改めてお知らせします。

なお、田原日韓親善協会など民間団体による交流は通常どおり行なわれています。

▼企画課☎23局３５０７

今回は、女性の地域活動への参加について、平成15年度実施の市民アンケートを整理してみました。

地域活動への参加で多いものは？

「自治会・町内会への参加」…男性46・8％　女性30・4％

「ＰＴＡ活動」…男性11・0％　女性7・4％

実際にその活動を担っているのは？

「自治会・町内会への参加」…男性

「ＰＴＡ活動」…男性・女性同程度

地域活動の施策づくりは今のままでいいの？

施策づくりへの女性の参加について、

「現状のままで良い」…男女とも15％

前後

「増やした方が良い」…男女とも55％強

「男女の数を半々にした方が良い」…男女とも15％前後

以上が、皆さんの地域活動への参加状況です。

では、なぜ施策づくりに女性の参加が必要なのでしょうか。

これからの社会に必要な施策の中には、介護や子育てといった、今まで女性がそのほとんどを担ってきた分野があります。今までの経験などから、地域活動や施策づくりに女性の存在は不可欠なものとなってくるでしょう。

そのために、

男女とも「仕事と家庭の両立ができる社会の仕組みをつくる」

男性も「家事・育児・介護の実態を知り、参加する」

ことが必要です。

そこで、一歩踏み出してみませんか？

夫婦そろって、家族みんなで、参加してみましょう。例えば、

・子育て教室
・介護セミナー
・親子教室
・趣味の教室
・地域の行事